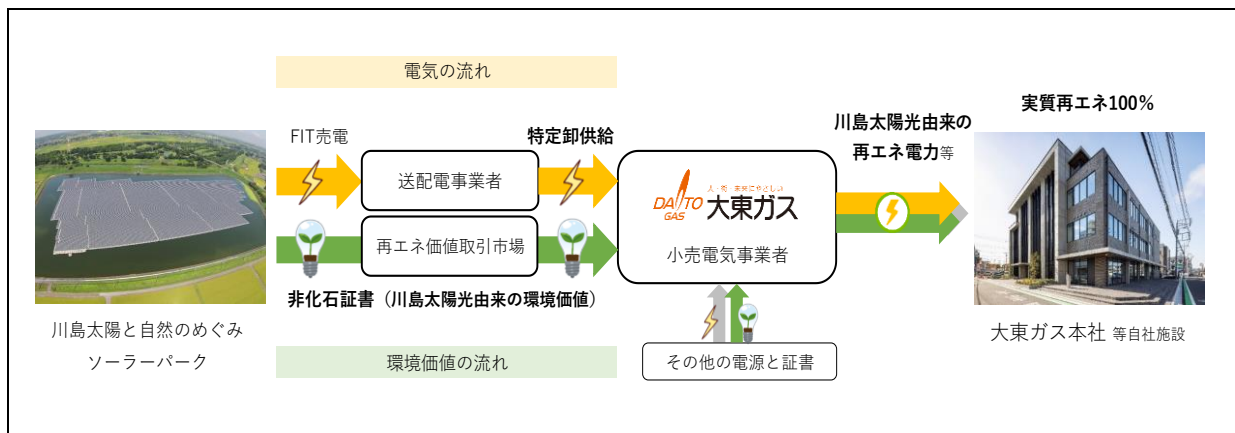


**当社が出資するメガソーラー発電所由来の  
再エネ電力の供給を開始  
～自社施設に活用することで地産地消を実現～**

大東ガス株式会社（代表取締役社長：清水 宏之介）は、本社等の自社施設に、当社が出資する埼玉県内のメガソーラー発電所（以下、川島太陽光（※1））で発電された電力を活用した再エネ電力（※2）の供給を開始いたしました。

当社はこれまで、自社施設に CO<sub>2</sub>フリー電力（※3）を供給することで CO<sub>2</sub>の排出量を実質ゼロとしてまいりましたが、川島太陽光を活用した再エネ電力の供給を通じて、CO<sub>2</sub>削減に加え、電力の地産地消についても推進してまいります。なお、本取り組みは、当社経営計画「Jump Up 2030」の重点項目のひとつに定める「エネルギー事業のさらなる発展と脱炭素社会の実現」に向けた取り組みの一環となります。

■概要



※1 事業主体：川島太陽と自然のめぐみソーラーパーク合同会社

事業地：埼玉県比企郡川島町大字梅ノ木（梅ノ木古凍貯水池）

発電規模：7.5 MW 運転開始 2015年10月26日

※2 「再生可能エネルギー電気特定卸供給によるFIT電気（※1）で発電された電力」と「トラッキング付非化石証書（※1に由来する環境価値）」を組み合わせることで「再エネ電力」とします。自社施設への供給において、太陽光が発電しない夜間等はCO<sub>2</sub>フリー電力（※3）を供給することで、実質再エネ電力100%での供給とします。

※3 「卸電力取引所からの調達や化石電源等による電気（通常電力）」と「トラッキング付非化石証書（再エネ指定）」を組み合わせることでCO<sub>2</sub>フリー電力（実質再エネ電力）とします。

以上